株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2021年3月期 第3四半期決算説明資料



















infoNet.

1.	当社の事業と私たちの社会的使命	p.3
2.	2021年 3 月期 第 3 四半期 TOPICS	p.9
3.	2021年3月期第3四半期決算概況	p.14
4.	SUMMARY	p.26
5.	APPENDIX	p.25

当社の事業と私たちの社会的使命

ONE STOP SERVICE

調査・分析からデザイン・システム 開発、運用サポートまで一貫して行う ワンストップサービスで 安定性の高いサービスの提供



SaaS型CMS市場

5年連続シェア No.1_{*}

※1 出典:ITR「ITR Market View:ECサイト構築/CMS/SMS送信サービス/電子契約 サービス市場2020」SaaS型CMS市場:ベンダー別売上金額推移およびシェア(2015~2019



調査・分析



企画・プロデュース



システム開発

主に中堅企業~大手企業・公共団体から 支持され、コーポレートサイトを中心に 制作実績1,300サイト以上。*

(infoCMS導入実績450サイト以上。※)

プラスαの 成果創出へ



効果測定・改善施策



OPERATION SUPPORT

運用サポート

私たちの社会的使命

コーポレートサイトをプラットフォームとした

WEBマーケティング、DX戦略を総合的に支援し、

顧客が目指す成果を創出することが、私たちの社会的使命です。

1 当社が目指す、コーポレートサイトを軸とした 総合的なWEBマーケティングのイメージ

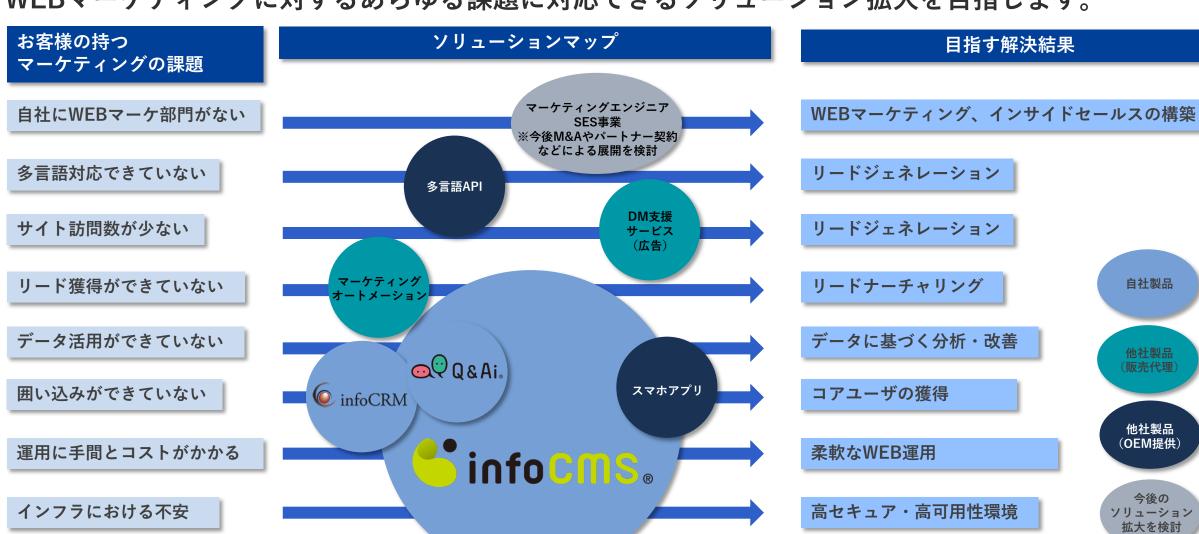
infoNet_®



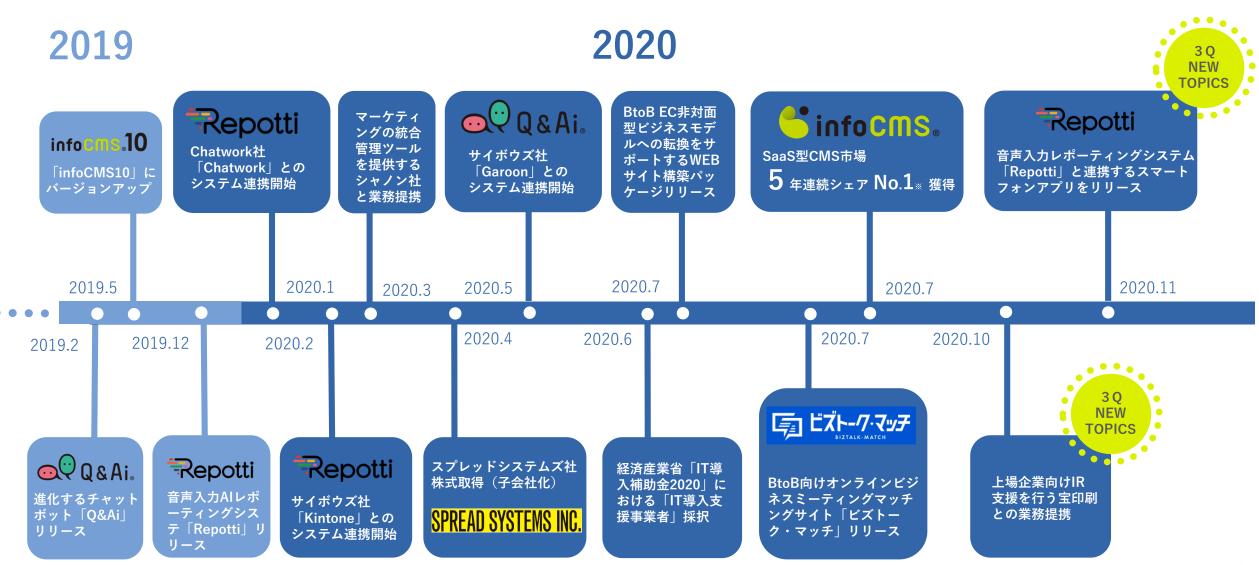
1. 顧客の課題に対するソリューションマップ

infoNet_®

WEBマーケティングに対するあらゆる課題に対応できるソリューション拡大を目指します。



1. Webマーケティン総合支援に向けたソリューション拡大のあゆみ infoNet。



2021年3月期第3四半期 TOPICS

トピックス

2. 2021年3月期第3四半期 TOPICS



Japan IT Week 秋 2020 「Web&デジタルマーケティングEXPO秋」に 出展しました。

幕張メッセで行われた「Web&デジタルマーケティング EXPO秋」に出展しました。今回は新型コロナウィルスの影響によりご来場が難しいお客様にはオンライン商談システムでも対応。「infoCMS」をはじめ、進化するチャットボット「Q&Ai」、音声入力レポーティングシステム「Repotti」のデモンストレーションを行い、多くのお客様に当社システムを体感いただきました。





宝印刷との業務提携を開始

ディスクロージャーサービスのパイオニアとして、株式上場の支援や、適時開示・法定開示情報をIR サイトに自動的に反映させる XJ-Storage を提供する宝印刷との業務提携を開始しました。また、進化するAIチャットボット「Q&Ai」の販売代理契約も締結しました。

- ✓ 両社があわせもつWEBインテグレーションノウハウを総合的に提供することで、 企業ブランディング、PR、CSR、IRなどの上質な情報提供を可能とした サイト構築を実現します。
- ✔ 投資家の皆さまが求める情報が多様化している昨今の、上場企業の コーポレートサイトに求められる期待値にお応えすることを目指しています。

2. 2021年3月期第3四半期 TOPICS



音声入力レポーティングシステム 「Repotti」と連携する スマートフォンアプリをリリース

音声入力AIレポーティングシステム「Repotti」をApp Store、Google Playストアに リリースしました。





東京中小企業投資育成株式会社共催 "中小企業のための「Webマーケティング」を考える ランチセミナー"に当社代表岸本が登壇しました。

2020年11月12日(木)、投資育成ビル(東京都渋谷区)にて、東京中小企業投資育成株式会社と

共催でセミナーを開催し、当社代表の岸本が登壇しました。

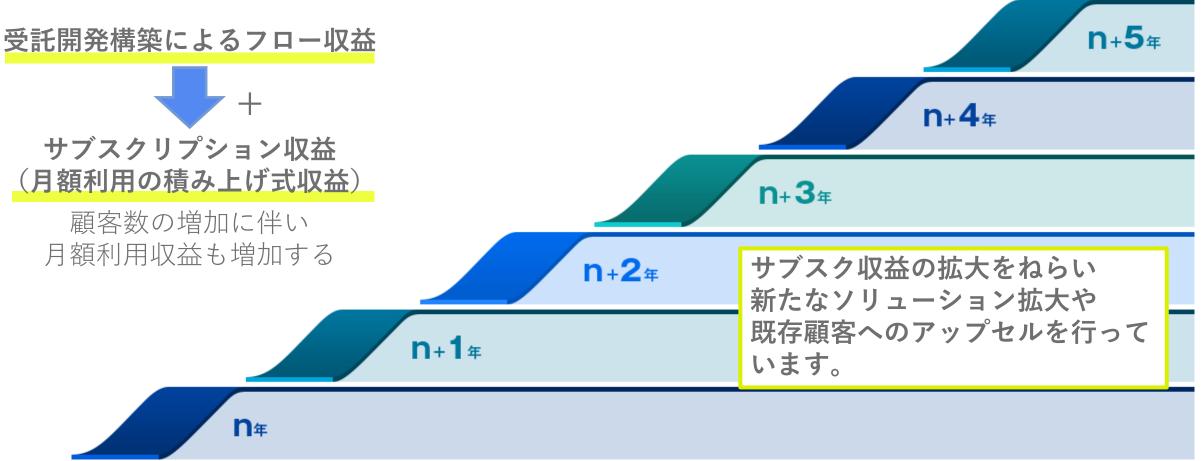
昨今、新型コロナウイルス感染症の影響により対面営業の機会が減少する中、BtoB企業において、自社ホームページなどを活用した情報発信やマーケティングの重要性が増しています。そういった背景を踏まえ、セミナーでは、中小企業のWEBマーケティングの具体的事例や、アフターコロナ時代の成功ポイント等をお話させていただきました。

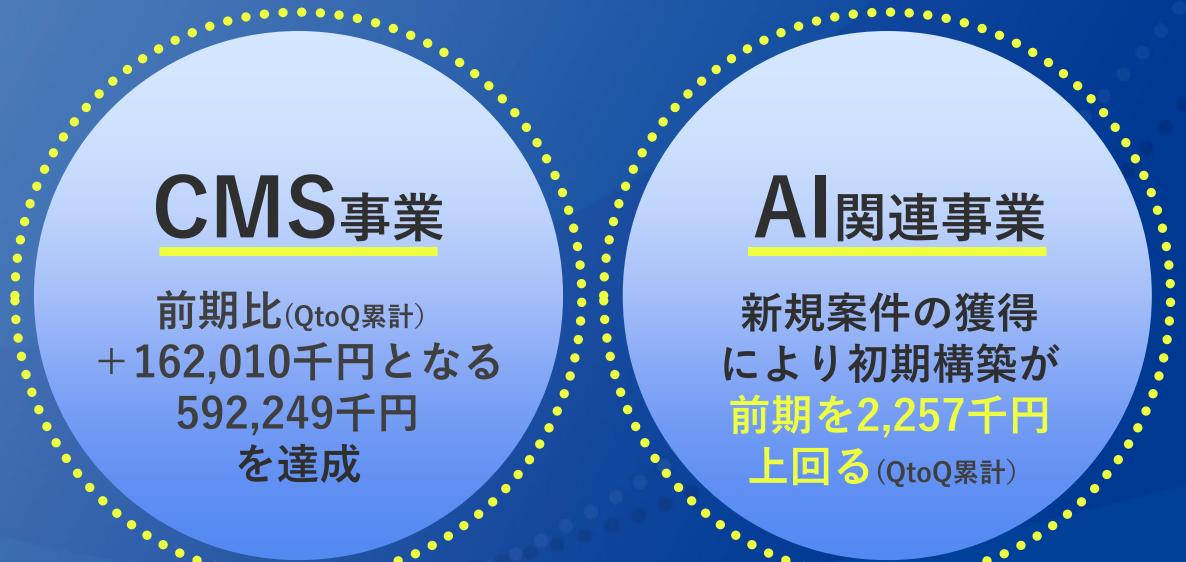


3 2021年3月期 第3四半期決算概況

3. 当社の収益構造

当社の収益構造





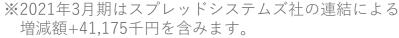


累計 前期比 +**35.3**%

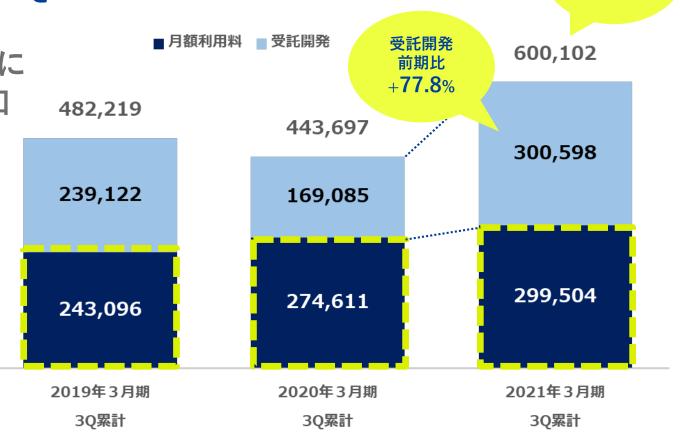
売上高実績 (QtoQ累計)

月額利用料収益、受託開発売上ともに 前期を上回り、+156,405千円の増加 (前期比 +35.3%)

- ・月額利用料収益は24,893千円の増加 (前期比 +9.1%)
- ・受託開発売上は131,513千円の増加 (**前期比** +**77.8**%)



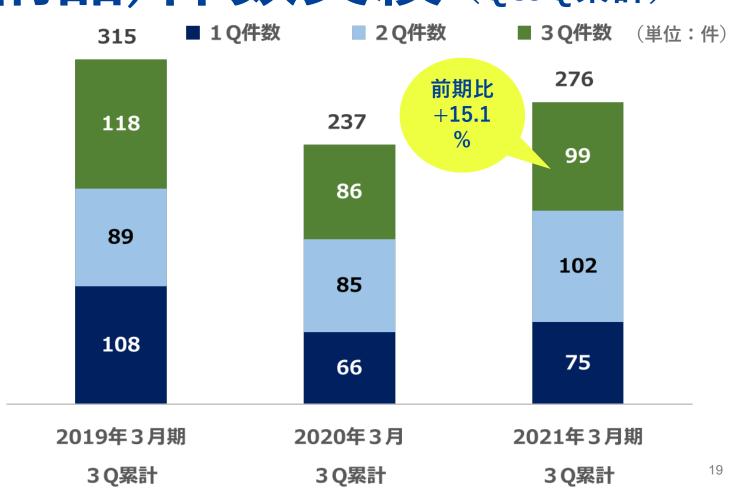
※月額利用料収益と受託開発売上の合計に誤差が出ておりますが、 グラフの各層の数値を千円未満切り捨てとしているためです。



受託開発売上(納品)件数実績(QtoQ累計)

前期に対し、+13件の増加 (前期比 +15.1%)

※スプレッドシステムズ社の実績は含まず インフォネット単体の実績となります。



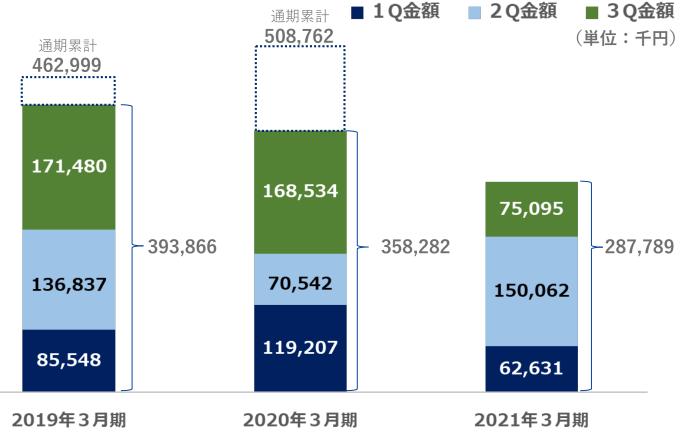
受託開発受注高実績(QtoQ累計)

3 Q累計

前期に対し、-70,493千円の減少 (前期比 -19.7%)

OtoO累計の減少要因は新規案件の受注件数が 前期比88.3%に減少していることが影響。 また、3Q単体においては案件単価の減少が 影響し、前期比-55.4%となった。 一方でQtoQ累計の案件単価は前期比109% でありマーケットは堅調。 引き続きの営業活動により通期での受注高 形成に注力していく。

※スプレッドシステムズ社の実績は含まず インフォネット単体の実績となります。 ※各〇の合計に誤差が出ておりますが、グラフの各層の数値を 千円未満切り捨てとしているためです。



3 Q累計

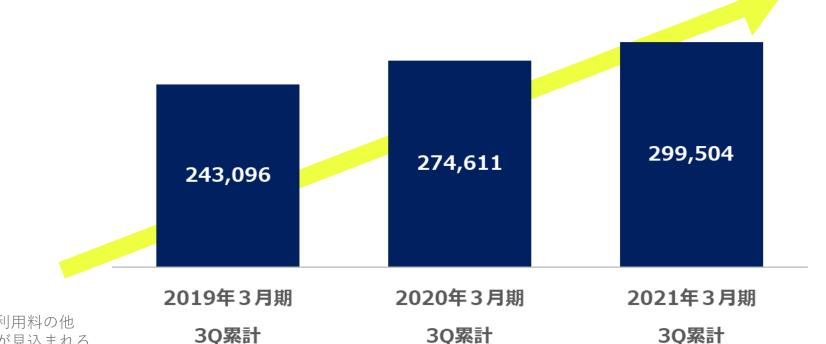
3 Q累計

3. 2021年3月期第3四半期決算概況

月額利用収益実績(QtoQ累計)

(単位:千円)

前期に対し、24,893千円の増加 成長率9.1%



※2021年3月期はスプレッドシステムズ社の 連結による増減額+19,140千円を含みます。

※月額利用収益にはinfoCMS等のサービス月額利用料の他 運用保守やリスティング広告費等、定額収益が見込まれる 項目を含んでいます。

月額請求社数推移

前期に対し、+7社の増加月平均単価は5.2%の増加

※スプレッドシステムズ社の実績は含まず インフォネット単体の実績となります。 ※各四半期最終月の請求社数をカウントしています。



■期末請求社数

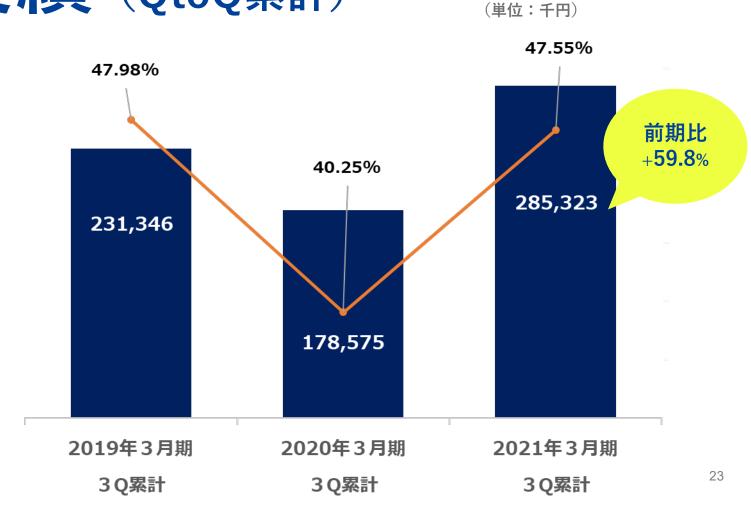
—-売上総利益率

売上総利益

売上総利益実績 (QtoQ累計)

前期に対し、+106,748千円の増加 (前期比 +59.8%)

 $\frac{2021}{50}$ 年3月期はスプレッドシステムズ社の連結による増減額+14,577千円を含みます。



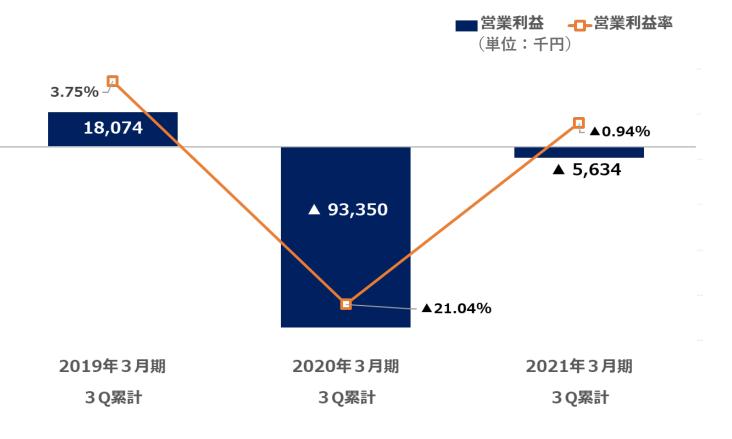
3. 2021年3月期第3四半期決算概況

営業利益実績 (QtoQ累計)

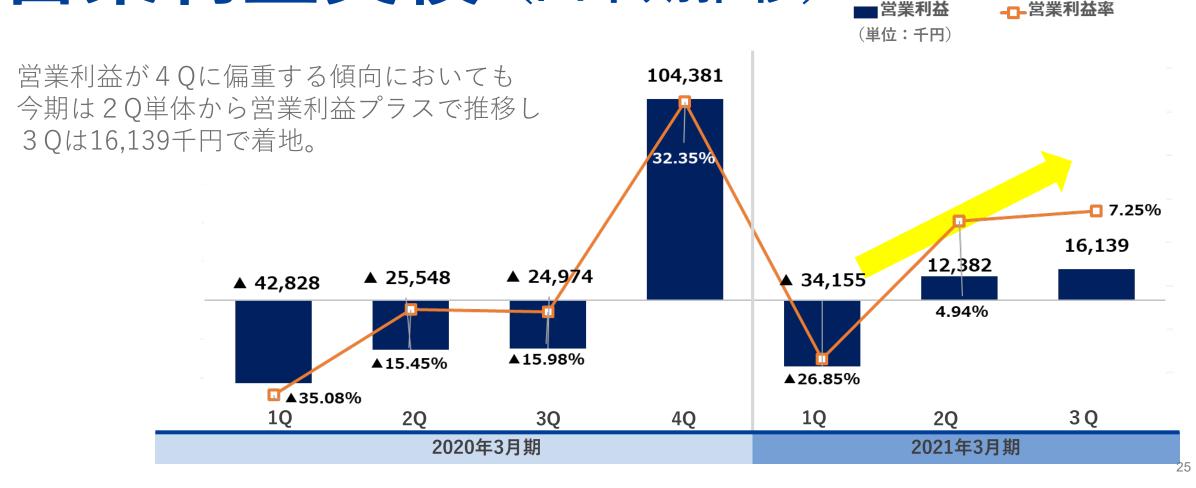
前期に対し、+87,716千円の増加

売上総利益の増加に加え、管理費用の 減少等により前期に対し大幅に増加。 3Q累計ではマイナスだが、例年受託 開発の納品が重なる4Qに営業利益が 大きく改善する偏重傾向があり、 通期での黒字を見込んでいる。

 $\frac{2021}{40}$ 年3月期はスプレッドシステムズ社の連結による増減額+6,299千円を含みます。



営業利益実績 (四半期推移)



SUMMARY

#\daggerup

4. SUMMARY BS增減比較

※2021年3月期3Q累計はスプレッドシステムズの2020年4月1日~2020年 12月31日の業績を含む連結業績です。

infoNet_®

(千円)	①2020年3月期 3 Q累計	②2021年3月期 3 Q累計	增減額 ② - ①
流動資産	820,573	1,021,099	200,526
固定資産	164,900	143,917	▲20,983
資産合計	985,473	1,165,017	179,544
流動負債	138,681	234,386	95,705
固定負債	93,374	96,804	3,430
負債合計	232,055	331,190	99,135
資本金	258,620	265,476	6,856
資本剰余金	238,620	245,476	6,856
利益剰余金	256,178	322,872	66,694
純資産合計	753,418	833,826	80,408
負債・純資産合計	985,473	1,165,017	179,544

4. SUMMARY PL增減比較

※2021年3月期2Q累計はスプレッド システムズの2020年4月1日~2020年 12月31日の業績を含む連結業績です。

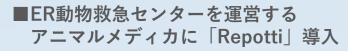
infoNet_®

(千円)		①2019年3月期 3Q累計	②2020年3月期 3 Q累計	③2021年3月期 3 Q累計	增減額 ③ - ②
売上高		482,219	443,697	600,102	156,405
	CMS事業	479,261	430,239	592,249	162,010
	AI関連事業	2,957	13,457	7,853	▲ 5,604
売上総利益		231,346	178,575	285,323	106,748
売上総利益率		47.98%	40.25%	47.55%	7.3pt
営業利益		18,074	▲ 93,350	▲ 5,634	87,716
営業利益率		3.75%	▲ 21.04%	▲0.94%	20.1pt
経常利益		17,750	▲100,095	▲3,438	96,657
経常利益率		3.68%	▲ 22.56%	▲0.57%	21.99pt
当期純利益		11,094	▲ 70,151	▲ 3,954	66,197
当期純利益率		2.30%	▲ 15.81%	▲0.66%	15.15pt

5 APPENDIX

WEBマーケティング総合支援カンパニーとして

infoNet_®



- ■「Q&Ai」がサイボウズ社「Garoon」と連携
- ■宝印刷との「Q&Ai」販売代理契約締結
- ■「Repotti」連携アプリをリリース
- ■小田急ホテルセンチュリーサザンタワーの 食材等棚卸、消費期限管理に「Repotti」導入

- ■「infoCMS」がSaaS型国内CMS市場で 5年連続シェアNo.1獲得※
- ■Japan IT Week秋2020「Web&デジタル マーケティングEXPO(秋)」出展



- ■マーケティングの統合管理ツールを提供する シャノン社と業務提携
- **■**「ビズトーク・マッチ」リリース

- ■スプレッドシステムズ子会社化
- ■経済産業省「IT導入補助金2020 | IT導入支援事業者採択
- ■BtoB非対面型ビジネスモデルの転換をサポートする WEBサイト構築パッケージリリース
- ■宝印刷との業務提携開始
- ■宝印刷共催セミナー実施

小田急ホテルセンチュリーサザンタワーの 食材等棚卸、消費期限管理に「Repotti」導入

^{AI} 05

食材や備品類の棚卸を紙でチェックしパソコンへデータ登録していた状態から、「Repotti」導入により、スマホアプリを用いて音声で直接管理システムへ登録が可能に。

- ✓棚卸の作業負荷が大幅に軽減
- √スタッフ同士の普段の会話で用いる通称(商品名)で発話しても 「Repotti」の学習機能により、正式名称での登録が可能。

宝印刷・ディスクロージャーIR総合研究所 共催オンラインセミナーを開催

投資家・ステークホルダーに望まれる効果的なIRサイト をテーマに、重要性を増すIR情報とコンテンツについて 解説しました。

- √参加枠が早期に満席となり、追加開催を行い計3回の実施となりました。
- √総計185社208名様にご参加いただき、大変ご好評をいただいました。

03 **WEB** インテグレート

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的 にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。